

	20代 女性	40代 女性	30代 男性	60代 女性
市との関わり	仕事での関わりがある	特になし		活動している団体としての関わりがある
市政情報の獲得方法	・スマホ ・広報紙	・市HP ・広報紙 ・井戸端会議	広報紙 公共施設(市立病院)設置のチラシ 市HPの市民参加カレンダー	広報紙 団体から直接
市政情報を得やすくするための方策		SNSを使って情報を拡散する		
アンケートへ回答した理由	協力しようと感じたから。	協力したいと思った。	・協力しようと感じたから。 ・全体を通して見て、設問数が多いはなかったため。	答えなければいけないものだった。
条例に対する意見	仕事で関係がなければ、なかなか市に関わることはできないが、このような条例があることで、市民個人で関わる事が出来ると感じた。	この条例が、まちづくりに関する活動に参加することを定めたものなのか、意見を出すことを定めたものなのか、わかりづらい。		
参加意欲について	知っていれば参加したいという意欲がある。	興味のある内容であり、時間に都合が合えば、参加したい。	興味のある内容であれば、意見交換会やバブコメにも参加したいと思う。	
これまで参加したことのある方法	ヒアリング	担当課への意見提出	アンケート	
参加したときの感想	ヒアリングを受けた際、意見を親身に聞いてもらうことができた。	意見は反映されなかったが、すぐに返答があり、どのようにすれば良いかのアドバイスもあったことで、良い印象であった。		
無作為抽出の有効性について	有効であると思う	有効であるとは思わない	有効であると思う	
理由	設定された場には行きづらい人や、大勢の中では意見の言いづらい人にも抽出され、意見を聞ける可能性があるため。	市の人口に対してアンケートの人数が少ないのでは。	理由: 普段興味のない人へアプローチが出来る。取り組み自体のPRをすることが出来る。市民参加を推進するためには、今回のような無作為抽出によるアンケート等をもっと実施していくべき。	
意見の取扱いについて	尊重していると思う	尊重していると思わない	尊重していると思う	
理由	過去に意見を親身に聞いてもらった経験があるから。 出された意見は、何かしらのかたちで反映されていると思う。	意見を出した時の体験としてではなく、客観的な意見として考えて、尊重されている様子が見えないから。 結果をみるために市HP等を見ようとはあまり思わないので、スーパーのお客様意見のように、来庁者の多い場所に張り出しておけば、待ち時間等に見るのでは。	理由: 過去に自転車に関する政策を調べた際に、意見の取扱いがはっきりと示されていたため。	
市民参加をしやすくなる工夫のアイデア	市民が中心となったもので、身近なテーマから話し合っ、意見を伝える場があればいい。(タウンミーティングのようなかたち)	地域毎で、地域の事(歴史、成り立ち、起こり得る災害等)を勉強する機会が、グループワークのような形で実施されれば、地域について詳しくなり、愛着を持ったり、市政に関心を持つことができるのではないかと。 会場として地域の小学校を選ぶことで、地域をより身近に感じる機会ともなる。	アンケート実施時、参考回答時間の表示をすること。 手に取った時に、全体の概要がわかるような工夫をすること。	
その他		普段であれば、意見をどのように、どこに伝えたら良いかわからない。説明会などをするときには、一方的な説明だけではなく、意見をしっかりと伝える機会があるとよい。	子どもの頃から、市政へ興味や愛着を持てるような取組や教育が重要である。市議会の傍聴など。	団体の活動(市民活動)に参加したこと、市の取組や市政について知ることが出来、関心を持って市民参加することにもつながった。
感想	アンケートが届いたことで市に親近感を持った。		このような取り組みをしていることを知ることが出来て良かった。	